



さちが丘小学校 学校だより

若竹

2月号

令和4年1月31日
横浜市立さちが丘小学校
校長 高浜 正太郎

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

「2月の最終水曜日は？」

副校長 小西 隆一郎



払い、早く平穏な日々が戻ってきてほしいと願うばかりです。

「鬼は外！福は内！」2月3日は節分の日です。その翌日、立春は旧暦では新たな年の始まりを表すことから、節分はさしずめ大晦日。豆をまいて1年の厄（鬼）を払い、新しい年を迎えたところですが、今は大きな鬼（コロナ禍）が立ちはだかり、気が抜けない日々が続いております。子どもたちの溢れるパワーと笑顔で鬼を



さて表題にもありますが、2月の最終水曜日は何の日かご存じでしょうか？

物語の始まりはカナダ・バンクーバー。ピンクのシャツを着て登校した男子生徒がからかわれ、いじめにあいました。それを知った上級生が「僕らもピンクのシャツを着ていじめストップを！」との呼びかけにより、賛同した多くの生徒がピンクのシャツや小物を身につけて登校したことで、学校中がピンク色に染まり、「いじめ」がなくなったそうです。

これがカナダ全土から世界中に広がり、2月の最終水曜日を「ピンクシャツデー」と宣言しました。現在では約180以上の国や地域でのワールドアクションとなっており、神奈川県でもこの2月をピンクシャツデー月間としていじめ防止の取り組みを進めています。

2021年度の横浜市の公立小学校のいじめ認知件数は前年比162件増（3.7%）の4527件。そのうちこのような「冷やかしやからかい、嫌なことを言われる」が約6割を占めています。

「ピンクシャツデー」をきっかけに、もう一度、ふだんの生活を振り返り、“誰もが楽しい学校”の実現に向けて取り組んでいきたいと思います。

